

令和6年度環境学習リーダー 養成講座

未来の地球・子どもたちのために私たちができること

- **日時** / 10月9日・20日・31日
11月9日・22日【裏面参照】
午前の部 10時～、午後の部 14時～
☆全10講座 ☆1講座から受講可能

オンライン
開催

- **定員** / 100名(応募多数の場合抽選)
- **対象** / 神奈川県内在住、在勤、在学の高校生以上の方
☆8割以上出席した方には修了証を授与します！
- **参加費** / 無料(受講に係る通信費用は受講者の負担となります。)
- **開催方法** / Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)
☆オンデマンドによる視聴も可能



- **講座内容** / 環境の専門分野の講師による幅広い知識と環境活動実践者の活動例などを学び、地域での環境活動を実践する指導者を目指すための基礎講座です。※全て座学講座です。※各講座の詳細内容はチラシ裏面参照
☆ライブ配信時は各講師に質問もできます！

申込み方法

◆「応募フォーム」または「ハガキ」

○応募フォーム○

右の二次元コードから応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

環境科学センターHP「講座・イベントのお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/event.html>

○ハガキ○

以下①～⑤の内容をご明記のうえ、下記の **申込み・問合せ先** までお送りください。

①申込み講座名(環境学習リーダー養成講座) ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな)

④電話番号 ⑤メールアドレス【①～⑤はすべて必須項目】

☆どちらも受付期間は**9月1日(日)～9月27日(金)(必着)**です。



令和6年度環境学習リーダー養成講座 < 日程表 >

日 時	タイトル	内 容	講 師	
1日目 10月9日 (水曜日)	10時～	神奈川県の大気・水環境の現状と課題について	私たちに身近な大気や水の環境について、環境基準や県が実施しているモニタリング調査などを紹介するとともに、調査結果を踏まえて県内の現状や課題をお伝えします。	神奈川県 環境科学センター 環境活動推進課 課長 池貝隆宏
	14時～	激甚化する気候変動の影響と私たちの暮らし ～緩和策と適応策～	激甚化する気候災害に備えて、気候変動の現状や将来予測を解説しつつ、これらに対する最近の世界の動きやこれに伴う国、自治体、民間企業、市民で今度さらに重要となると思われる気候変動対策（緩和策と適応策）についてお話しします。	環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原博満氏
2日目 10月20日 (日曜日)	10時～	各自の行動にかかっています～脱炭素・循環型、自然再興を～	「勝負の2030年」と謳われている第6次環境基本計画が公表されました。ゼロカーボンアクション、サーキュラーエコノミー等、消費者の役割をわかり易く解説します。トラブル急増のリチウムイオン電池は3分動画で情報提供します。	(非営) 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長 鬼沢良子氏
	14時～	食品ロスの現状と課題・削減に向けた取組について	食品ロスは生産、製造、販売、消費等の各過程で発生し、その削減には事業者、県民がこの問題を自分事として捉え、行動することが必要です。そこで、食品ロスの現状と課題、県の施策のほか、削減に向けた具体的な取組等について講義します。	神奈川県 資源循環推進課 副技幹 河野郷史
3日目 10月31日 (木曜日)	10時～	AIとIoTを用いた海洋プラスチックごみモニタリング	海洋プラスチック問題の解決の第一歩は、海洋や海岸等におけるプラスチックごみの種類や現存量を把握することです。IoTを用いた観測や、AIを用いた定量化に向けた取り組みについて紹介します。	(国研) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 主任研究員 松岡大祐氏
	14時～	「SDGsの教育」から求められる環境学習リーダーとは？	国連SDGsの達成年度まで6年を切ったが、目標に含まれる多くの環境問題が解決できていない。解決に向けて環境学習が「変容の教育 (transformative education)」であるために、どのような学習リーダーが求められているのか本講座で考える。	東海大学 教養学部 人間環境学科 教授 岩本泰氏
4日目 11月9日 (土曜日)	10時～	市民活動について	ボランティア活動をはじめとする市民の公益的な活動を支える組織の成り立ちや運営方法を事例とともに解説し、今後について考えます。	(一社) ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚明美氏
	14時～	①環境学習の進め方 ～環境学習講座の講師として～ ②地球温暖化と未来の地球 ～私たちにできることを考えよう～	①環境学習の講師として、どのように講座を進めるかを解説します。進め方として、目的(主題の設定)、講座手順、進め方の注意点、取りまとめを行います。その内容においては、様々な講座事例の紹介、受講者への対応、アンケートなどによる成果の確認などをパワーポイント等により行い、環境学習の知識を習得していただきます。 ②地球温暖化の原因としくみ、その対策として重要な省エネについて解説し、シミュレーション映像により、このままいくと未来の地球がどうなるか知識を習得します。また、地球温暖化クイズにより理解を深めていきます。	(非営) 神奈川県環境学習リーダー会 ①代表理事 吉岡嗣二郎氏 ②理事、エネルギー部会 部長 鈴木勝男氏
5日目 11月22日 (金曜日)	10時～	生物多様性の保全と里山の自然	生物多様性保全の枠組みや制度の概要をお話しし、特に里地里山の自然について、歴史、現代的な課題、具体的な保全の取り組みについてお話しします。	東京農業大学 農学部 生物資源開発学科 教授 三井裕樹氏
	14時～	①貴金属で水素を使用した発電によりカーボンニュートラルへ貢献 ②国連開発計画との共同プログラム「SDGアカデミー」について	①水素を原料とした発電方法に燃料電池があります。その燃料電池の構成素材として貴金属は重要な役割を果たしています。燃料電池の仕組みや燃料電池を用いたカーボンニュートラルの取り組みをお話しします。 ②サーキュラーエコノミーを推進する人材育成プログラムをインドネシアの国連開発計画(UNDP)と実施し、ゴミ問題などの社会課題を抱える同国に対し、日本の包装容器に関わる技術やノウハウを共有した内容をご紹介します。	①田中貴金属工業株式会社 FC開発センター センター長 松谷耕一氏 ②日本クロージャー株式会社 製品開発部 課長 中川征氏

※各講座は、受講申し込み者に限りオンデマンド視聴が可能です。

※Zoomの視聴用URLやその他の連絡はお申込時に登録されたメールアドレス宛にお送りいたします。